

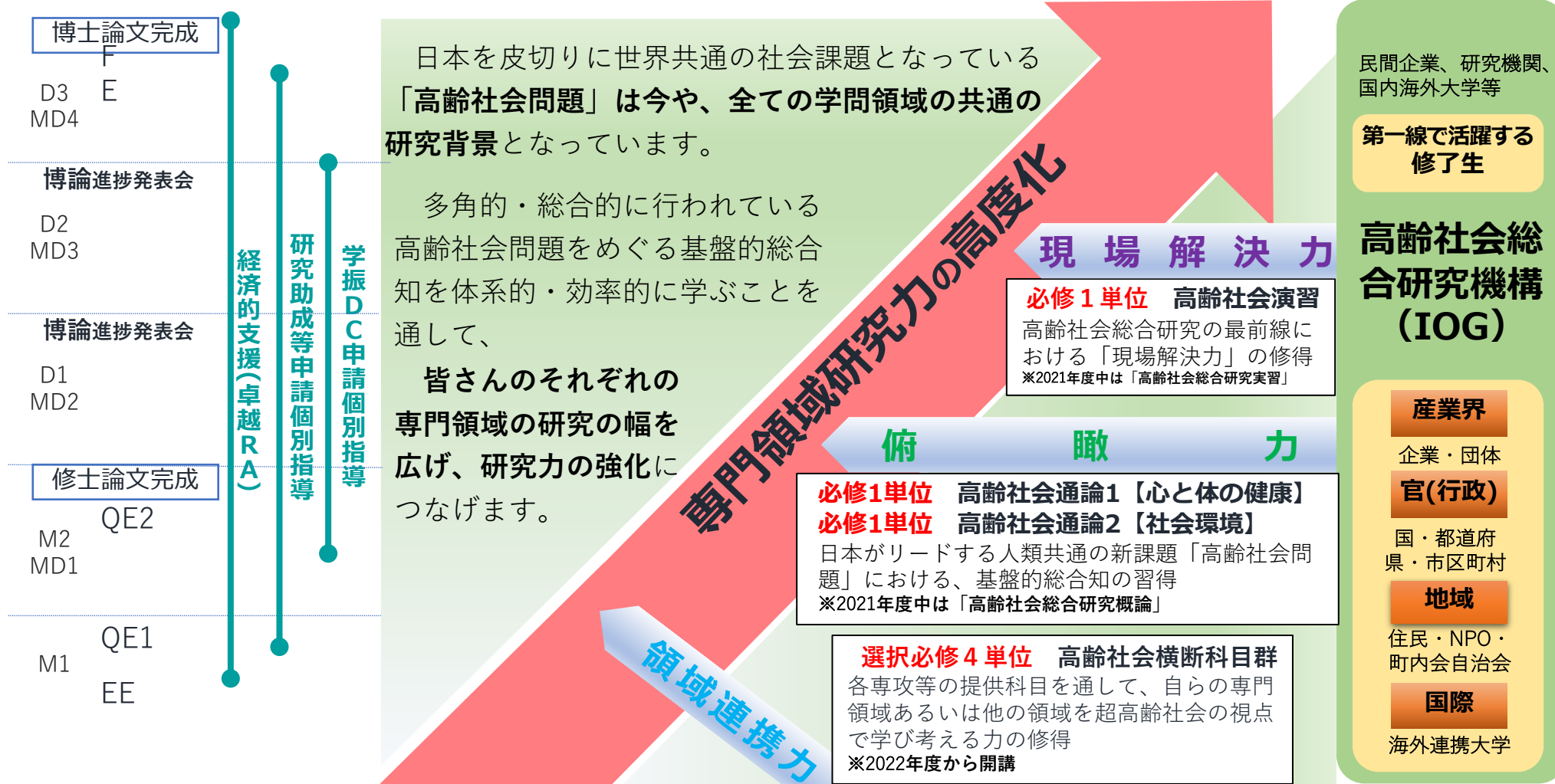
2022年度夏学期  
WINGS-GLAFS  
ガイダンス

220402

# WINGS-GLAFS

高齢社会総合研究国際卓越大学院

日本がリードする人類共通の新課題「高齢社会問題」における基盤的総合知の習得・最前線での体験を通して自らの専門領域研究力の強化を図る。



## 9研究科・1学府

(※ 本プログラムでは現在「参画専攻の拡大」を実施中のため、新たに参画専攻が上記に加えられることがありますので、最新情報はHPでご確認ください。)

工学系研究科全専攻・医学系研究科5専攻・人文社会系研究科1専攻・法学政治学研究科1専攻・農学生命科学研究科7専攻  
教育学研究科2専攻・総合文化研究科1専攻・情報理工学系研究科1専攻・新領域創成科学研究科3専攻・学際情報学府1専攻

# WINGS-GLAFSの修了要件

## ■単位の修得 合計：必修3単位+選択必修4単位

- ・ <必修> 高齢社会総合研究学通論1・2（1単位×2科目・2単位）
- ・ <必修> 高齢社会総合研究学演習（1単位×1科目・1単位以上）
- ・ <選択必修> 高齢社会横断科目群（4単位以上）
- ・ WINGS-GLAFS生（7期、8期）には、さかのぼり適用→取りすぎている単位は「読み替え」

## ■8月発表会、3月発表会における進捗発表（QEを兼ねる）

- ・ 修士課程学生：学修進捗発表会（修論の進捗状況+プログラムの履修状況）
- ・ 博士課程学生：博論進捗発表会（博論の進捗状況／合計5回の進捗発表と最終発表）

## ■学振（JSPS）のDC1,DC2への申請

- ・ 修士2年4月：DC1への応募
- ・ 博士1,2年4月：DC2への応募（DC1獲得者は除く）

## ■必修1単位 高齢社会通論1

【高齢者の体と心：老いとつきあう】（A1）（飯島）

## 必修1単位 高齢社会通論2

【高齢者を支える社会環境】（S2）（大月）

## ●読み替え

- ・ 高齢社会総合研究概論1.2の既履修単位から通論2単位分に読み替え
- ・ 4単位既履修者は2単位分を「高齢社会横断科目群」に読み替え
- ・ 詳細は別紙シラバス参照（HPにも載せます）

■必修1単位 高齢社会演習（通年） ・1単位＝13P 1P≒1時間参加

- ・読み替え 既履修分のポイントのうち13Pを本単位に読み替え  
13Pを超えた分に加えて、25Pに達するPを取得した場合「高齢社会横断科目群（旧実習科目として単位付与）」に読替（それ以上は読み替えしない）

- ・これまでのスタジオ制、ポイント制  
以下、現在番号がついているプログラム

2201 フレイル予防（飯島・孫）

2202 めじろ台（大月、李）

2203 G-tech（二瓶、菅原、藤崎、三浦、藪、吉田、吉崎、伊藤研）

2204 豊四季台地域活動館（高瀬、後藤、荻野、似内）

2205 リビングラボ（秋山、吉田）

2206 ジェロントロジー・アカデミー（飯島、辻、田中友、田中康、神谷、高瀬）

その他、レクチャー、IOGシンポ等、随時HPに掲載予定

- ・履修の仕方

担当教員に連絡、履修の希望を伝える

「GLAFS高齢社会演習レポート」に必要事項を記入し担当教員に送付

交通費など必要な経費の支出等は担当教員に尋ねる

今年度から、通論の履修を終了しなくても演習を履修できる

資料②

## ■ 選択必修4単位 高齢社会横断科目群

- ・ 詳細は別紙一覧表参照
  - ・ (リーディング大学院向) 旧高齢社会総合研究特論
  - ・ HPにも載せます
  - ・ 成績の確認
- 高齢社会横断科目群 (IOG提供科目を除く) を履修したら、

**UTASの当該科目成績画面のPDFを  
info@glafs.u-tokyo.ac.jpに送付**

**資料③**

## ■2022年度のスケジュール (予定)

● 8月全体発表会 (学修進捗発表 + 博論進捗発表 + 交流会)

8/6土 1300-1600 (発表) 1700-(交流会)

● 2023年度履修生募集

募集説明会：8/3水1600 - 1700

募集期間：9/12 - 26

● 秋学期ガイダンス

10/1土1400-1500 (ガイダンス) 1600- (交流会)

● 3月全体発表会学修進捗発表 + 博論進捗発表)

3/4土 1000-1500 (発表) 1700-(交流会)

● 修了式

3/23木 1700-1800 (修了式) 1800 - (交流会 + OB会)

※今後重要書類等は  
homeroom@で配布の上、  
グーグルドライブ  
を設定してアップします